

闘春2016年元旦



第880号 2016.1.1
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円
購読料は会費に含む



新春にあたり
連合中越地域協議会
議長 矢島 良彦

新年あけましておめでとうございます。連合中越に結集する組合員とご家族の皆様、そして、日頃よりご指導・ご鞭撻を賜っております各関係機関・各団体の皆様は新年のご挨拶を申し上げます。

昨年流行語大賞はトリプルスリーと決まりました。プロ野球の成績で一年を通じて三割・三十本・三十盗塁という偉業を達成したことを指し示す言葉であります。連合も第四次男女共同参画推進計画で三割の女性を大会代議員に、そして役員にと進めております。昨年の第二十五回定期総会からその試みがスタートしたわけであり、昨年、まず形から入って中身も伴う活動(女性の意見を運動に取り入れること)を目指していかねばなりません。構成組織、組合のご理解をお願いいたします。

さて、連合中越は、地域に根差した顔の見える運動をめざし、日本の地協活動を目標としております。このことは「連合運動が見えない」という連合評価委員会座長の故・中坊幸平氏の言葉から一念発起し、どうしたら労働者、生活者に近い運動ができるのかを模索し、そもそも見える運動とは何かを求めるところからスタートしたわけであり、その答えが地協活動の活性化であります。十年前全国300の地協のモデルとして我が地協は選ばれた経緯があります。当時はNP活動や地域貢献活動が主流でしたが、これからの労働運動で重要なことは、労協協、NPO団体と連携し、行政サービスのみではカバーしきれない領域を担う活動を推進することです。労働組合が地域の活動へ深く関わりをもつことが、連合中越がめざす、『自立した持続可能な日本一の地協活動』であり、地域に根差した顔の見える運動と言えるわけです。

当然ながら地域の拠り所としてのライフサポートセンター事業や生活困窮者支援事業も推進していくこと、働く事を軸とした地域の関わりを大切に、組織された組合員だけでなく全ての労働者の福祉向上をめざすことには変わりありません。

そういう意味で、これらの地域活動に産別、単組の皆さんの関わりをより強く持つて頂くことをお願いいたします。そして、更に中越管内に地協の運動を浸透させ、組合員の負託に応えることはもちろん、社会正義・公平公正な社会づくりに愚直なまでに邁進し、地域の労働運動の活性化に貢献していきましょう。

これまでの様々な地域活動に関わりを持って頂いた構成組織・組合の皆様のご協力に心から御礼を申し上げます。最後に、本年も変わらぬご指導を賜りますようお願いし、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

あけまして
おめでとうございます



議長	矢島 良彦	Uゼンセン
副議長	横澤 勝之	自治労
副議長	羽賀 実	JAM新潟
副議長	小堺 宏彦	電機連合
副議長	火山 健悟	JP労組
副議長	松野憲一郎	電力総連
事務局長	小林 守	情報労連
事務局長	青柳 拓二	日教組
事務局長	飯田 浩二	自治労
事務局長	高橋 幸介	Uゼンセン
事務局長	伊丹 信夫	JAM新潟
事務局長	金子 敬	交通労連
事務局長	多田 将行	ヘルスクア協
事務局長	小池 昭夫	自動車総連
事務局長	長谷川恵美子	JR総連
事務局長	皆川 清市	日教組
事務局長	星野 紘史	情報労連
事務局長	大津 敏和	運輸労連
事務局長	今井 稔	私鉄総連
事務局長	多田 啓助	基幹労連
事務局長	山田 康浩	JEC連合
事務局長	富岡 幹雄	全水道
事務局長	関口 善仙	見附支部
事務局長	中嶋 信幸	小千谷支部
事務局長	半澤 英和	北魚沼支部
事務局長	山口耕一郎	南魚沼支部
事務局長	神田 茂信	十日町支部
事務局長	石田 千絵	SJネット
事務局長	高橋奈恵子	SJネット
事務局長	沓名 稔	SJネット
事務局長	小玉 太祐	紙パ連合
事務局長	中三 斉	全労金
事務局長	木田由紀子	事務局